

知ろう、探ろう

中高生による中高生のためのタウン誌

めぐろう

No.17

夢への道しるべ
巡り巡るぼくらのまち

めぐろう No.17

夢への道しるべ 巡り巡るぼくらのまち



今号のテーマである「夢への道しるべ」を表紙で表現しました。
右の男の子は、手を伸ばして夢をつかもうとしています。また、左の女の子は、男の子と一緒に夢へ進もうと目を輝かせています。そして、そんな二人を虹が支えています。(しほ、みどり)

表紙イラストの解説



「桜の木の下で青春している二人」というテーマでイラストを描きました。学校帰り放課後にこっそりとお団子を買って、お花見をしているという中高生ならではの青春と夢を表現しました。(杏樹)



祭りといえばリンゴ飴とラムネ！
青春を感じさせるために、自撮りで撮っている構図にし、明るく元気そうなボブの女の子にはひまわり、ゆったりと優しいような黒髪の女の子には金魚の浴衣を着せました。(咲羽)

このイラストは「青春、夢」というテーマで描きました。私が思う「青春」は放課後にゲームセンターで遊ぶ事です。放課後にゲームセンターで遊ぶのは、私にとって、青春でのやりたい事と憧れだったので、このイラストを描きました。本格的に描くのは、はじめてでラフや色合いが難しく、一度描き直そうとしましたが、周りの友だちのアドバイスのおかげで良いイラストが描けました。(千夏)



次号編集員募集中!!

次号「めぐろう」第18号の制作にあたり、編集員を募集します。
取材や編集に興味のある人、集まれ!

- 04 その思い、インタビューさせてください!
～統合する学校について、校長先生と生徒会長さんに聞いてみた～
第八中学校+第十一中学校 → 目黒西中学校
第七中学校+第九中学校 → 目黒南中学校
- 08 第22回 パーシモンほたる祭り
- 10 駒沢オリンピック公園の生き物
- 12 目黒区の文化祭・学園祭 ～中学・高校編～
トキワ松学園中学校高等学校 トキワ祭／八雲学園中学校高等学校 八雲学園文化祭
- 14 目黒区の文化祭・学園祭 ～大学編～
東京音楽大学 芸術祭
- 16 目黒の気になるお店探訪 野方ホープ 中目黒店
- 18 5～6歳のときに何してた? 懐かしの保育園・幼稚園大潜入!!
- 20 知って楽しい! 目黒の学校 ～部活編～
保育部／弓道部／中国語部
- 22 読書好きも読書嫌いも! 読むって、知るって楽しい!! 図書コーナー・図書室を取材!
- 24 お仕事インタビュー!! ① ディレクター・映画監督 ^{いま お しのぶ} 今尾 偲さん
- 26 お仕事インタビュー!! ② グラフィックデザイナー・イラストレーター いなだ ゆかりさん
- 28 「めぐろう」夏休み講習 スマホ・デジカメ講座 基本の基
- 30 「めぐろう」ができるまで!!
- 31 編集後記

「めぐろう」とは…

「めぐろう」は、中高生による中高生のための目黒のタウン誌です。
目黒区の良さを、より多くの人に知ってもらいたいという願いを込めて作りました。
編集員が、それぞれ知りたいこと、伝えたいことを決め、企画からデザインまで全てを行った努力の結晶です。この「めぐろう」を読んで「目黒区」を「巡ろう」となっていたら嬉しいです。
ぜひ、永久保存版にしてください! それではお楽しみください。

今号のテーマについて

私が初めて「めぐろう」を手に取った時、「この表紙みたいな絵を描けるようになりたい」と思っていました。その時の私のように、この「めぐろう」を手に取った人が、「こんな風になりたい」と思えることが見つかったら嬉しいです。目黒に住んでいる誰かにとっての夢が見つかる手助けになりたいように、と願いを込めて、このテーマを考えました。(咲羽)

「巡り巡るぼくらのまち」は、「めぐろう」に込められた「目黒区」を「巡ろう」に注目して考えました。私が「めぐろう」に参加した理由として、「めぐろう」を通して目黒区の良さを知り、隅々まで街を巡ってみたいと思ったからなので、「巡り巡る」にその思いを込めました。また、自分たちの街についてより理解を深めてもらい、地域を支えてきた人たちに感謝の気持ちを持っていきたいと思って、「ぼくらのまち」というフレーズを使いました。(杏樹)

目次のデザインについて

「めぐろう」編集委員が、「目黒」という単語からイメージできるものを目次の背景に採用しました。(杏心)

その思い、インタビューさせてください！

～統合する学校について、校長先生と生徒会長さんに聞いてみた①～

第十一中学校

生徒会長さん

- 2つあります。1つ目は体育大会です。八の字跳びで、練習では最下位でしたが、本番で優勝することができ嬉しかったです。2つ目は区の連合音楽会です。私は伴奏者だったので難しい曲で苦戦しましたが、クラスみんなからの寄せ書きをもらって、無事成功することができました。
- 2校のいいところが集結できるような学校にしていきたいです。
- 3学校に泊まって、肝試しをしました。
- 4全部好き（笑）です。特に学校で作るただの白米が美味しいです。



▲生徒会長さんの写真

田井俊行校長先生

- 着任して初めての修学旅行です。コロナ禍ということもあり、いつもは修学旅行生であふれかえる法隆寺が貸切状態で、印象的でした！！
- 好きなことを見つける喜び、友達との絆を深める大切さ、失敗から立ち上がる強さなど様々な経験をしてください！！

たくさんの思い出を語ってくれました！



校長先生への質問

- この中学校で印象に残る思い出を教えてください。
- 今の私たちにエールをください。

生徒会長さんへの質問

- この中学校で印象に残る思い出を教えてください。
- どのような目黒西中学校にしていきたいですか？
- 1日学校を貸し切ることができるなら何をしたいですか？
- 好きな給食メニューを教えてください。

第十一中学校と第八中学校が
統合して

目黒西中学校に！



新しい校章と標準服とエンブレム



第八中学校

中川博英校長先生

- 自分が来てからの4年間、生徒が自ら挨拶してくれることや、全校朝礼で生徒たちがよく話を聞いてくれることが嬉しく、驚きでした！
- この地域と交流を深めて、地域に貢献できるような人になってほしいです！！
自分の住む地域に誇りを持ってください。



とっても熱心な先生です！



▲生徒会長さんの写真



▲インタビューの様子



▲校長先生との写真



▲第八中学校の校舎

取材をした二人に質問!!



●第八中で印象に残る思い出

・合唱コンクールです。歌が得意じゃない人、歌が得意な人が集まった中で、励まし合いながら練習を重ねたことが印象強いです。

●どのような目黒西中学校にしていきたいか

・居心地のいい学校をみんなで作っていききたいです。（花史）

●第八中で印象に残る思い出

・私が一番印象に残ったのは、運動会です。私は、エイサー選抜メンバーに選ばれ、暑い中先輩たちと一緒に練習をしたことです。

●どのような目黒西中学校にしていきたいか

・第十一中と仲良くしていきたいです。千夏

～統合する学校について、校長先生と生徒会長さんに聞いてみた②～

生徒会長さん

- ① 体育祭です。みんなで一生懸命に作戦を立てたので勝利できました！
- ② 生徒のみんなや周りの人たちにもいいと思ってもらえるような学校にしていきたいです。
- ③ 昔、九中に通っていた人も立ち入れるイベントを開催したいです。
- ④ ジャージャー麺！！



▲校長先生と生徒会長さんとの写真

とても明るく、
話しやすい
校長先生でした！



▲第九中学校
の図書室

▲インタビューしている様子

このゆうこ
鴻野祐子校長先生

- ①生徒は積極的に挨拶をしてくれます。九中生の伝統である「10回会ったら10回挨拶」、下校まで8回も挨拶してくれた生徒がいて、感動しました!! 未だ記録は更新されていません!
- ②興味を持ってとことん調べてチャレンジして欲しいです! 社会に出て絶対に役立つはずです!

校長先生への質問

- ① この中学校で印象に残る思い出を教えてください。
- ② 今の私たちのエールをください。

生徒会長さんへの質問

- ① この中学校で印象に残る思い出を教えてください。
- ② どのような目黒南中学校にしていきたいですか？
- ③ 1日学校を貸し切ることができたら何をしたいですか？
- ④ 好きな給食メニューを教えてください。

第七中学校と第九中学校が

統合して

目黒南中学校に！



新しい校章と標準服と
エンブレム



Q1. 音楽はどのような存在ですか？
A1. 「中西さん」音楽とは自己表現であり、自分の花が開く時であり、世の中や社会で役に立てる武器です。

「堀井さん」音楽を作るといいう行為が私自身です。自分にとって、音楽は仕事であり、友だちを作る道具です。

Q2. どんなふうに校歌を歌ってほしいかなど、目黒南中学校に通う生徒たちに伝えたいことはありますか。

A2「中西さん」子どもたちの心に響いてくれて、中学校を卒業した時に歌いたくなると思います。校歌のフレーズに出てくる「七つの海」ですが、七つの海を越えていけるようなグローバルな視点を持つて欲しいという思い、そして「九思の教え」とは、そのような人であって欲しいと思つて指針です。過ごした時間や景色を思い出し、してもらえると嬉しいですね。

「堀井さん」短いフレーズの中に、次に向かってくるような気持ちが入り込められるような校歌です。友だちとの関係の中で、自分が成長したと思える学校生活であるといいですね。

生徒会長さん

かね こひろ き
金子弘樹校長先生

- ①合唱コンクールです。練習を始めた頃はきちんと並ばない、頑張りたい子とそうでない子がいましたが、本番が近づくにつれてそのようなことを乗り越えられて、達成感を感じられました。
- ②笑顔を大事にしてください。
笑顔でいると、自分の体にも良いし、隣の人も笑顔になります。



生徒思いだということ
が伝わって
きました！



▲インタビューしている様子

- 1 去年のハンドメイド部の部活動の
の合宿です。作品作りやおやつ
で食べた台湾カステラが美味し
かったです。
- 2 授業には集中し、楽しむ時は楽
しめるようなメリハリのある学
校生活にしていきたいです。ま
た、自分の長所を活かすことの
できる学校になると良いと思い
ます。
- 3 人狼や逃走中など、鬼ごっこが
したいです。
- 4 揚げパン、卵スープ。



▲校長先生と生徒会長さんとの写真

令和7年4月1日に、いよいよ目黒南中学校が開校！
校歌制作に携わった中西圭三さんと堀井勝美さんへインタビューをしました！



東京音楽大学
教授
ほりい かつ み
堀井勝美さん



シンガーソング
ライター
なかにし けい ぞう
中西圭三さん



第22回 パーシモンほたる祭り
実行委員長の

小ホ：直史くんインタビュー



パーシモンほたる祭りは、2002年のパーシモンホールの開館を記念して始まりました。このお祭りは子どもたちを地域の絆によって、温かく見守っていこうという思いの詰まったものです。しかし子どもたちに、ほたるを見てもうために、色々な失敗がありました。例えば、1000匹ものほたるを購入して暗くしたホールで鑑賞してもらおうとしたのですが、光りませんでした。そこで、ほたるの専門家に相談したところ「幼虫時代から体内時計を調整しておく」とアドバイスいただきました。その甲斐あって、昨年はやっと光るほたるを見ることができました。このお祭りでは近隣小中学校の音楽発表など多くの人たちが関わっています。小杉さんは「子どもたちの喜んでいる声を聴くことができ嬉しい、子どもたちの喜んでいる笑顔は地域の宝、子どもたちがこのお祭りで、いろいろなことを学んでまっすぐに育っていった欲しい」とおっしゃっていました。



▲ミニSLも立派な蒸気機関車、迫力がありました。

めぐろ区民キャンパス北側広場では、日本工業大学駒場高等学校の生徒の方々によるミニSL運転が行われていました！
本格的で、とても凄かったです！

大ホールでは、各団体による合奏やダンスの披露が行われていました！



◀吹奏楽部の演奏の様子

●パーシモンほたる祭りのほたるの観賞では、ほたるの光がとても綺麗で、見ていて楽しかったです。取材を通して、餌は慎重に入れるなど、ほたるを育てるのは簡単ではないことがよくわかりました。ほたるは綺麗な川でしか生きられないと聞いて、これからは綺麗なほたるの光を見るために、私たちが自然を大切に守っていく必要があると感じました。(みどり)

●ほたる祭りには行ったことがなかったの、めぐろ区民キャンパスに初めて行きました。イベント内には、ほたるの観賞のほかにも、ミニSLや模擬店もあって、とても充実していました。特に焼きそばや、かき氷はにぎわっていました。ダンスや、地域の学校の演奏などもあって、とても楽しめました。インタビューをしていると、携わっている人たちの熱い思いが伝わってきて、心が温まりました。また次のほたる祭りも行きたいです！(しほ)



▲公園広場では模擬店がたくさんありました。

Q & A

- Q1. ほたる祭りのほたるは、どこから捕まえてきたのですか？
A1. 埼玉の東武動物公園から400匹、運んできました。
Q2. どんなふうに、ほたるを運んできたのですか？
A2. 成虫になった状態で、葉っぱが入った水槽に入れて運びます。

幼虫のえさの紹介パネル。他にも、ほたるに関するパネルがたくさん展示してありました。

ようちゅうのえさ



◀ほたるの幼虫を見せてくれました。

初めて見たけど小さかった！



東武動物公園の阪本さんに取材をして、貴重なお話を聞くことができました！

メモ

ほたる観賞は無料のイベントですが、事前申込制で、入場には「観賞整理券」が必要です。

◀取材の様子

ほたる観賞



Q & A

- Q3. 寿命はどのくらいなのですか？
A3. 成虫は、1週間くらいしか生きられません。
Q4. 餌や育て方のコツを教えてください。
A4. 幼虫の餌である巻貝などを小さく刻んで、幼虫がいる場所にゆっくりエサを落とします。

7月15日(月・祝)に、めぐろ区民キャンパスで開催された第22回パーシモンほたる祭りへ行ってきました！！

第22回 パーシモンほたる祭り



《公園内で見つけた生き物》展覧会



▲ルドベキア



▲ベニハナトキワマンサク



▲カワラバト



▲カルガモのお家



▲カルガモたち夢の世界へ



▲カルガモ



●カメラで鳥や花などを撮るのが楽しかったです。公園管理所とボランティアさんが苗の配布を行っていることを初めて知りまして、他の季節にも行って、もっと他の動物や植物を見たいと思いました。(みどり)

●駒沢オリンピックビック公園管理所の方への取材で、花壇ボランティアの方々が、花壇を綺麗にしていると聞きまして、人が手入れすると、こんなにも綺麗になるのかと、感慨深くなりました。駒沢公園では、公園で遊ぶ、走る、休憩する、など様々なことができますが、緑豊かな自然を感じるために、訪れるのもありだと思っています。(こほ)

駒沢オリンピック公園の生き物

都会では、自然と触れ合う機会が少ないですが、公園に行くとたくさんの自然と触れ合うことができます！



木の上から鳴き声が聞こえ、よく見ると黒いネクタイを付けたようなかわいさをしているよ！



◀シジュウカラ
[目黒区の鳥]

駒沢オリンピック公園管理所でインタビューしました！

- Q1. 季節ごとに主にどんな生き物が来るのですか？
A1. 春はチョウ、ミツバチ、テントウムシ、ウグイス、ツバメ。夏はセミ、バッタ、アゲハチョウ、カルガモ、コゲラ、アオダイショウ、ニホンカナヘビ。秋はトンボ、コオロギ。冬はメジロ、ハクセキレイなどが来ます。
- Q2. 公園には、何種類の植物が植えられていますか？
A2. おそらく100種類以上あります。
- Q3. 生えている植物の管理の方法を教えてください。
A3. 常駐している4人のメンテナンスタッフが管理をしています。ジャブジャブ池の管理もしています。3メートル以上の木の管理は、高所作業車を使うので、業者の方に外注しています。花壇はボランティアの方が手入れをしていて、緑化フェアの時に苗の配布も行っています。

春から秋に、日当たりが良い石の上で日向ぼっこをしているよ！



▲ニホンカナヘビ

- Q4. 何故、この仕事に就いたのですか？
A4. 東京農業大学で造園を学び、植物に関わる仕事がしたいと思ったからです。
- Q5. イチオシの動植物はなんですか？
A5. ニホンヤモリとニホンカナヘビです。



▲駒沢オリンピック公園について、色々教えてくださいました。

目黒区の文化祭・学園祭・中学・高校編

トキワ松学園中学校高等学校

トキワ祭

9/22
(日)

9/23
(月)



▲トキワ祭の様子

文化祭実行委員さんにインタビュー！

- Q1. 今年の文化祭のテーマは何ですか？ また、それに決めた理由を教えてください。
- A1. テーマは「トキワ松の個性を発揮し、探究の奥深さを伝え、たくさんの方が惹かれる文化祭にしよう」と、生徒全員の個性を活かした活発な文化祭にしようと思ったからです。
- Q2. 今年の文化祭準備、運営にあたって一番苦労したことは何ですか？
- A2. 文化祭の規則を的確に伝え、しっかりと守ってもらうこと、守っていない団体に注意を払うことです。

中学1年a組「前代未聞 激流コースター」責任者さんにインタビュー！



Q4. トキワ祭にしかない魅力はなんだと思いますか？

A4. 学校の文化（探究女子）や芸術活動を多く実施していて、生徒たちの個々の才能や努力の成果を直接感じられるところがトキワ祭にしかない魅力だと思います！！

※1 チャレンジ賞：これまでにないスクールの大きな企画運営に送られる賞です。

●16号でも目黒区の高校の文化祭を取材したのですが、今号では大学にもインタビューをさせていただき、昨年とは違う貴重な経験をするこができました。インタビュー対応してくださった皆さんに笑顔で優しく答えていただき、緊張することなくインタビューができました。ありがとうございました！

●高校や大学の学園祭へインタビューに行かせてもらいました。それぞれ高校、大学だからこそその良さがある学園祭で、とても充実していて楽しかったです！普段自分の学校以外の学園祭には行くことがないので、新しい発見がたくさんありました。みなさんもぜひ行ってみてください！これから高校生・大学生になる方々も、読めばわくわくするような内容になっています。

八雲学園中学校高等学校 八雲学園文化祭

10/12
(土)

10/13
(日)

トロフィーはどこだ?! (高1・R組)

- Q1. 巨大迷路を行う上で、人気の映画作品をテーマに入れたのはなぜですか？
- A1. 面白い迷路を考えた際に、魔法の世界にある森の迷路が面白そうと感じ、再現しようと思ったからです。
- Q2. 制作期間はどれくらいですか？
- A2. 1ヶ月程度です。
- Q3. 苦労したことはなんですか？
- A3. 花紙やスランテープを使ってトンネルのようにしたり、装飾を作ることが大変でしたが、参加した方々に「楽しかった」「面白かった」という感想をもらえて嬉しかったです！
- Q4. 最後に文化祭の魅力を教えてください。
- A4. 来場してくれたみなさんに自分たちが頑張ってきたことをお見せできることが魅力の一つだと思います。



F☆グルイ (Fチュロ) (高2・F組)

- Q1. どうしてチュロスとKPOPを合わせたお店にしようと思ったのですか？
- A1. まず、みんなの好きな食べ物だったため、チュロスにしました。
- Q2. KPOPが好きなの最近が多いため、KPOPをコンセプトにしてお店を出すことにしました！
- Q3. 準備期間はどれくらいですか？
- A3. チュロスの試作は7月上旬から始め、9月末に味を決定しました。教室内の装飾などは1週間程度で準備しました。
- Q4. 八雲学園だからその文化祭の魅力を教えてください！
- A4. 「校則を守りながら、どれだけ工夫して楽しむか」を考える力が身につけられます。また、毎年やることも違いますが、学芸会なども多いです。

文化祭実行委員さんにインタビュー！

- Q1. 今年度の文化祭のテーマは「&OY〜エンジョイ〜」と伺いましたが、そのテーマにした理由を教えてください。
- A1. 2024年は1月1日から能登半島地震や羽田空港の事故があり、世界的に暗い話題が多かった頃に今年度の文化祭のテーマを決めようとなり、暗い雰囲気の中でも、学校という団体から笑顔を増やしたいと考えました。そこで、「一致団結しよう」という意味を込めて、「&OY〜エンジョイ〜」をテーマとして決定しました。
- Q2. 文化祭運営にあたって苦労した点や、やりがいを感したところを教えてください。
- A2. 当口まで、文化祭運営に関わる大勢の本部の委員や裏方で意見をまとめることが大変でした。また、指示出しなどをして全体を動かしながら自分達の仕事を進めていくことに苦労しました。しかし、こういった大変さを乗り越えたからこそ、周りの方々から「良かったよー」という言葉をかけられたり、お客さんが楽しんでいる様子をみたりすると、やりがいを感じることができ、嬉しかったです。
- Q3. 最後に、八雲学園の魅力を教えてください！
- A3. 一番の魅力は英語に力を入れているということです。文化祭でも中3は英語劇を行うことになっていたり、英語祭という行事では、英語で接客を行う学習などをしたりしています。また、文化祭では中1・中2は展示、中3は英語劇、高1はアトラクションやゲーム、そして高2では飲食店と学年ごとに行つてを分けて、段階を踏みながら進めています。このように、八雲学園では行事などで楽しみながら学びを深められることが魅力だと思います。



11月3日、4日に開催された東京音楽大学芸術祭の取材へ行ってきました！



▲オープニングセレモニーの様子

オープニング

芸術祭「テーマソング」のお話

芸術祭のテーマソングを制作された下川一樹さんに
発表演奏後にインタビューさせていただきました。



▲テーマソングの演奏を聴きました。

Q1. なぜ、芸術祭のテーマ曲選考に応募しようと思ったのですか？

A1. 現在、大学3年生で就活などがあるタイミングのなかで、自分はシンガーソングライターになりたいと思っていて、今自分が頑張れることは作曲だと思ったからです。「とにかくチャレンジしたいと思った！」ことが一番大きな理由です。

Q2. 作詞、作曲をどのように行っているか教えてください。

A2. 「一番は、机に向かって手を動かすことをやめない。」という事です。また、煮詰まった時には散歩に行つて気分転換をしたり、散歩の最中に考えたりしたことを手練り寄せて自分の音楽に繋げています。作詞に関しては、昔から日記を書くのが好きで、今の自分のマインドや気持ちや歌詞に反映されていると思います。

Q3. 現在頑張っています。

Q4. 東京音楽大学の魅力を教えてください。

A4. 開放的なスペースが多く、学年・楽器の境目なく仲良くなっているというのが、この学校の魅力だと思っています。周りを見ても、他の楽器専攻の人とご飯を食べているところや、学年を超えて交流している場面をよく見ることが出来ます。

Q5. 最後に、「めぐる」の読者である中高生の私たちにエールをお願いします！

A5. やりたいことが上手くいかない時や自分の調子が悪い時もあると思います。しかし、もがいている時は自分自身が成長している時です！成長しているからこそ、上手くいかないと感じるのではないのでしょうか？ 上手くいかない時は、立ち止まっても、自分のやりたいことを簡単にやめないで欲しいです！



▲テーマソングを制作された下川一樹さんに、インタビューをしました。

Q3. 制作期間はどれくらいですか？

A3. 約1ヶ月です。

Q4. 制作のなかで一番苦労したことはなんですか？

A4. 普段の自分の制作活動では、自由に自分の作りたい曲を作るのですが、今回はテーマがあったため、そのテーマに沿ったものを作る難しさに加えて、自分がこの曲が好きだと思える曲を作ることの苦労しました。特に、自分の好きとテーマの共通点を見つけるのが大変でした。

Q5. なぜ、東京音楽大学に入ろうと思ったのか教えてください。

A5. 高校で軽音をやっていた、その頃から自分で曲を作り、大会で賞をもらったりすることで自分の音楽に対して自信がついたということが一番の理由です。それに音楽以外にやりたいこともなかったため入学しようと思いました。

Q6. 東京音楽大学の魅力を教えてください。

A6. 楽器が上手な人と交流できることです。

Q7. 最後に、「めぐる」の読者である中高生の私たちにエールをお願いします！

A7. 成功するかもしれないではなく、頑張りを知っておくということが大切だと思います!! 何か打ち込んで頑張るマインドを知っておくと思うので、ぜひ、探してみてください。

芸術祭実行委員副委員長さんのお話



▲副委員長さんにお話を聞きました。

Q3. なぜ、東京音楽大学に入ろうと思ったのか教えてください。

A3. 母が吹奏楽をやっていたことがきっかけで、自分も音楽を始め、吹奏楽の強い高校に通っていたことから入学を決めました。将来は教員になりたいと思っていることから、教員免許を取る

Q2. 芸術祭の運営を行うにあたって、苦労した点を教えてください。

A2. 全体の運営を担うしなければならないこと、色々な部署がある中で、その全てのまとめをすることが大変でした。また、今回は天候にも苦労しました。天気予報では台風が来るかもしれないと言われていた中で、テントを張る予定を変え、急遽人を集めて雨の中テントを立ち上げるなど全員不安な気持ちでした。

Q3. なぜ、東京音楽大学に入ろうと思ったのか教えてください。

A3. 母が吹奏楽をやっていたことがきっかけで、自分も音楽を始め、吹奏楽の強い高校に通っていたことから入学を決めました。将来は教員になりたいと思っていることから、教員免許を取る

有志企画のオペラ「フィガロの結婚」を聴きました。



模擬店の運営も活発で、大学生活が待ち遠しくなりました！

